

伊賀市 事務事業評価シート

一般事務

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
事業名	48	財政管理経費	01	01	一般会計
			02	02	総務費
基本施策	68	財政基盤を確立する	01	01	総務管理費
			03	03	財政管理費
担当部課名	総務部財政課		101	101	財政管理経費
作成者氏名	赤澤行宏	連絡先	2350	01	財政管理経費
			細々目	01	財政管理経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	市民のための効率的、効果的な行財政事務	効率的、弾力的な行財政運営に努め、安定した財政基盤を確立することにより、多様化、増大する市民要望に適切に対応することとなり、市民の信頼が確保される。
本年度事業内容	・財政計画(見通し)の策定 ・予算編成、執行管理 ・交付税算定 ・決算見込み関係事務 ・起債の借入れ、償還 ・バランスシート等財務書類の作成 ・財政状況の公表	
根拠法令・要綱等	地方自治法、地方財政法ほか	

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	10.99	10.99	9.99
	人件費合計(A)	79,128	79,128	71,928
	事業費(B)	2,305	1,669	1,620
②支出内訳(千円)	印刷製本費	605	657	638
	使用料及び賃借料	493		
	その他	1,207	1,012	982
	合計(A+B)	81,433	80,797	73,548
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
	その他特財			
	一般財源	81,433	80,797	73,548
上記①～③に関する特記事項				
平成18年8月1日付で、職員1名が減員された。				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
予算編成事務	回	6	4	4			
起債借入れ申し込み件数	件	81	110	90			
財務書類の作成	種類	1	3	3			

情勢の変化及び事業の改善点等

・新たに時代に相応しい行財政運営・・・限りある財源を有効活用するため、総合計画(実施計画)の策定及び事務事業評価制度の導入に合わせ、評価と予算が連動する仕組みづくりに取り組み、新たに各部への一定予算枠配分を実施する。 ・市町村には、自由で責任ある地域経営が求められているため、内部管理強化と市民に解りやすい財政事情の開示を進めるために、バランスシート、行政コスト計算書及び資金収支計算書の作成に取り組む。

評価	達成度	3	予算編成及び執行管理が中心の財政事務は、事務事業評価と連動したものに大きく変化し、ほぼ予算査定を必要としない評価が中心の予算編成となり、数字の集約・分析と執行管理だけのものとなっていく見込みで、他には厳しい財政事情を庁内外に積極的に発信する必要から情報の開示事務が重要となる。これらのことから、数字情報のない行政評価と数字だけの財政事務を統合しなければならない状況になっていきます。
	効率性	2	